コーチライセンスについて

JBAの方針によりコーチライセンスが必須になります。

2019年度は移行期間とし2020年度より完全実施

■ C級

●全日本社会人地域リーグ（将来的にはB級が必須になる）

■D級

●全日本社会人選手権大会／ブロック予選

●全日本社会人OA選手権大会／ブロック予選

■E級

●日本社会人レディース交流大会

■TeamJBAでのチーム登録

●チーム登録時にE級以上必須とする。

各都道府県大会・リーグ戦などで大会当日にベンチにいない場合の対応は
各都道府県の裁量に任せる。

大会申込時にコーチライセンスを取得済みであること（見込みは不可※JBA規程変更）

各大会におけるコーチライセンスの適用基準について （2019年度～） 【新旧比較版】

<表の見方>
黒字：現行（2018年度基準）
赤字：今回の変更点 ※今回承認いただきたい変更点

<主な変更点>
- E-2級・E-1級の表記は「E-2級またはE級」、「E-1級またはE級」に変更
- U15選手権を追加
- 国体については、国体開催基準要項の改定に伴い、5月末までに登録済み必須であることを追記
- コーチの新規・昇格は年間を通して随時可能となることから、特別措置の①を削除

各大会においてベンチで指揮をとる(スコアシートにサインする)コーチは必要資格を保有していることとする。

2019年3月7日

カテゴリー	サブカテゴリー	大会名	全国レベル	ブロックレベル	都道府県レベル	地区レベル
—	—	天皇杯・皇后杯 全日本選手権大会	D級（都道府県代表決定戦～ファイナルラウンドまで共通）			
	—	国民体育大会	C級(*1)(*4)	C級(*1)(*4)		
B.LEAGUE	—	B1リーグ	HC：S級(*1) AC：B級(*1)			
	—	B2リーグ	HC：A級(*1) AC：B級(*1)			
	—	B3リーグ	HC：B級(*1) AC：C級(*1)			
WJBL	—	Wリーグ	HC：S級(*1) AC：B級(*1)			
一般	社会人	全日本社会人地域リーグ（チャンピオンシップ）	C級	C級		
		全日本社会人選手権大会	D級	D級	E-1級→E-1級またはE級	
		全日本社会人O-40/O-50選手権大会	D級	D級	E-1級→E-1級またはE級	
		日本社会人レディース交流大会（東地域・中地域・西地域）	E-1級→E-1級またはE級		E-1級→E-1級またはE級	
		都道府県リーグ			E-1級→E-1級またはE級	E-2級またはE級
	—	日本スポーツマスターズ	C級(*1)			
	教員	全日本教員大会	C級	記載削除（大会の改編による）		
	大学	全日本大学選手権大会(インカレ)	C級	C級(*2)		
		（上記以外の大会）	C級	(*3)	(*3)	
	専門学校	全国専門学校選手権大会	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	
		（上記以外の大会）	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級
U18	高校	全国高等学校選手権大会（ウインターカップ）	D級		D級(*3)	(*3)
		全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	(*3)		(*3)	(*3)
		全国高等学校定時制通信制大会	(*3)	(*3)	(*3)	
	高等専門	全国高等専門学校体育大会	C級	(*3)		
	—	都道府県リーグ			E-2級→E-2級またはE級	E-2級またはE級
	—	（上記以外の大会）		(*3)	(*3)	(*3)
U15	—	都道府県対抗ジュニア大会（ジュニアオールスター）	C級	記載削除（大会の改編による）		
		全国U15選手権大会	D級		D級	D級(*3)
		全国中学校大会	(*3)	(*3)	(*3)	(*3)
		都道府県リーグ			E-2級→E-2級またはE級	E-2級またはE級
		（上記以外の大会）		(*3)	(*3)	(*3)
U12	—	全国ミニ大会	D級(*1)		E-2級→E-2級またはE級	E-2級→E-2級またはE級
		ブロック大会		E-1級またはE級	(*3)	(*3)
		都道府県リーグ			E-2級→E-2級またはE級	E-2級またはE級
		（上記以外の大会）		E-1級またはE級	(*3)	(*3)

（斜線は該当大会がないことを意味している。）

【特別措置】 ~~① 受講修了者(当該ライセンスの講習会を受講し、修了している場合)は認める。~~ →廃止（登録手続き方法の変更により、考慮不要となるため）
② 指導実績1年目に限り免除とする。

【備考】 (*1) 特別措置なし
(*2) 全国大会に適じるレベル
(*3) ライセンスを取得していることが望ましい
(*4) 国民体育大会開催基準要項に基づき、5月末までに登録済みであることが必須

コーチラインセス運用について

大会時のコーチラインセス運用について下記の手順で行いますので、御対応の程よろしくお願いします。

●コーチとは

○試合中実際に指揮を執る者
○各大会で定められたJBA公認ライセンスを有すること
○試合前にスコアシートにサインする者
　※監督、部長、アシスタントコーチはスコアシートにサインできません。
○**大会プログラムのコーチ名**と上記は同一人物になるように大会の申込みをすること
○試合前にスコアシートにサインする際にアシスタントコーチを指定すること

●コーチが選手として試合出場する場合は

○コーチが選手として出場している時間はアシスタントコーチがコーチの任務と権限を引き継ぐ。
※2019競技規則　第7条６
○コーチが試合に出場してる時間は選手として扱われる。
※コーチ兼選手が選手として出場中にテクニカルファウルが宣された時は選手のテクニカルファウルとして扱われるれ、審判が交代選手を招き入れた後にコーチ兼選手がテクニカルファウルを宣された時はコーチのテクニカルファウルとして扱われる
○アシスタントコーチも選手として出場している時間はベンチに残っている者がタイムアウトをTOへ請求できる。※JSBのみ特別ルール

コーチラインセス運用について

試合時のコーチラインセス運用について下記の手順で行いますので、御対応の程よろしくお願いします。

①大会運営はスコアシートのコーチの欄にパンフレットの「コーチ」の名前を記載する。
※パンフレットのコーチから試合当日のコーチを変える場合はJBAの下記の申請書を大会本部へ提出し、許可を得ること。
●各大会におけるコーチライセンスの適用基準について
http://www.japanbasketball.jp/coach/license/
●大会中のコーチ資格保持者不在による報告書（大会参加チーム→大会主催者）
http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_report1.pdf
●大会中のコーチ資格保持者不在による報告書（大会主催者→JBA）
http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/coach_licenseStandard_report2.pdf
↓
②ゲーム開始予定時刻の7分前には、各コーチはチームメンバーの氏名と番号、コーチ陣の氏名を確認・同意し、スコアシートにサインをしなければならない。また同時に最初に出場する５人のプレーヤーを明示しなければならない。チームAのコーチが先にこの情報を提供する。
↓
③審判・スコアラーはスコアシートにサインをもらう際に「JBA公認コーチ証」を確認する。
↓
④コーチはサイン後、アシスタントコーチを指名し、審判・スコアラーに伝える。
↓
⑤コーチは試合中は「JBA公認コーチ証」をネックストラップに入れ首からぶら下げて常に掲示する。

●コーチとは
ゲーム中、コーチは、ボールがデッドになりゲームクロックが止められているときのみ、審判に礼儀正しくコミュニケーションをとることができる。

●アシスタントコーチとは
コーチとアシスタントコーチは、一度にどちらか１人であればゲーム中に立ち続けることを認められている。チームベンチエリア内であれば、ゲーム中にプレーヤーに話しかけることができる。
アシスタントコーチは審判とコミュニケーションをとってはならない。
【補足】コーチとアシスタントコーチは、両者が同時に立ち続けることは認められない。